

報告事項 1

平成29年度(2017年度)事業計画

公益目的事業

1 材料学に関する研究の進歩をはかり、もって学術の発展および技術の向上に寄与する事業

調査研究

1) 調査研究

委託研究：平成29年度も企業等機関から委託された材料学に関する個別の研究課題については当該分野を専門とする個人または研究グループによって調査研究および技術開発研究を推進していく。

2) 図書の出版, 研究資料ならびにデータベース等の頒布

新たに発行する予定の出版物

- | | |
|--------------------|------|
| (1) 「機械材料学」(重版) | 本会発行 |
| (2) 「建設材料実験」(重版) | 本会発行 |
| (3) 「機械設計法」(重版) | 本会発行 |
| (4) 「改訂 材料強度学」(重版) | 本会発行 |

データ集(疲労部門委員会・信頼性工学部門委員会)

WEB型データベースについては引き続き運用していく。また、将来的にはWEB型データベースのシステムバージョンアップが必要となるので、その準備も進めていく予定である。

3) 学会標準

発行から10数年経過した標準について見直しなど行う予定である。

学術集会・交流

1) 第66期学術講演会

平成29年5月27日, 28日(名古屋)

特別講演「マイクロ・ナノメカトロニクスとバイオ応用」

講演者：福田敏男氏(名城大学理工学部メカトロニクス工学科 教授)

平成29年5月27日(名古屋)

2) 第66期学術講演会併設行事(公開部門委員会)

(1) 疲労, 破壊力学合同部門委員会「フレット疲労」(仮題)

平成29年5月26日(名古屋)

(2) 高温強度部門委員会「高温強度問題の最前線」(仮題)

平成29年5月26日(名古屋)

(3) 衝撃部門委員会「衝撃工学に関する最新動向」

平成29年5月26日(名古屋)

3) 材料WEEK

平成29年10月10日～14日, 京都テルサにおいて第3回材料WEEKを開催する。

本部企画の材料シンポジウム(ワークショップ・若手学生研究発表会), 公開部門委員会, 部門主催のシンポジウム, 講習会など材料に関する学術集会行事を一堂に会して開催する。

4) 本会の主催による講習会, シンポジウム, セミナー等

(1) 第2回マルチスケール材料力学シンポジウム(第22回分子動力学シンポジウム・第10回マイクロマテリアルシンポジウム)

(企画：分子動力学部門委員会・マイクロマテリアル部門委員会) 平成29年5月26日(名古屋)

(2) 第51回X線材料強度に関するシンポジウム

平成29年7月27日, 28日(神戸)

(企画：X線材料強度部門委員会)

(3) 第47回初心者のための有限要素法講習会(第1部 基礎コース)

平成29年8月～9月(京都)

(4) 第47回初心者のための有限要素法講習会(第2部 応用コース)

平成29年8月～9月(未定)

(5) JCOM若手シンポジウム2017

平成29年8月頃(未定)

(企画：複合材料部門委員会)

(6) 第29回初心者のための疲労設計講習会

平成29年9月頃(東京)

(企画：疲労部門委員会, 関東支部)

(7) 損傷評価講習会(仮)

平成29年10月(京都)

(企画：高温強度部門委員会)

(8) 第15回機械・構造物の強度設計, 安全性評価に関するシンポジウム

平成29年10月(京都)

(企画：強度設計・安全性評価部門委員会・疲労部門委員会)

- (9) 第30回初心者のための疲労設計講習会 平成29年10月(京 都)
(企画：疲労部門委員会, 関西支部)
- (10) 第31回初心者のための疲労設計講習会 平成29年11月頃(広 島)
(企画：疲労部門委員会)
- (11) 第17回コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレードシンポジウム
(企画：コンクリート工事用樹脂部門委員会) 平成29年10月12日, 13日(京 都)
- (12) 第12回材料の衝撃問題シンポジウム 平成29年10月13, 14日(京 都)
(企画：衝撃部門委員会)
- (13) 第6回フラクトグラフィ講習会 平成29年10月(京 都)
(企画：フラクトグラフィ部門委員会)
- (14) 第54回X線材料強度に関する討論会 平成29年12月1日(関 東)
(企画：X線材料強度部門委員会)
- (15) 第55回高温強度・第18回破壊力学合同シンポジウム 平成29年11月～12月(未 定)
(企画：高温強度部門委員会・破壊力学部門委員会)
- (16) 第37回疲労講座 平成29年12月頃(広 島)
(企画：疲労部門委員会)
- (17) 第14回ノートパソコンで出来る原子レベルのシミュレーション入門講習会
(企画：分子動力学部門委員会) 平成29年12月(未 定)
- (18) 第4回信頼性工学入門セミナー 平成29年12月(関 西)
(企画：信頼性工学部門委員会)
- (19) 第30回信頼性シンポジウム 平成29年12月(関 西)
(企画：信頼性工学部門委員会)
- (20) 第9回日本複合材料会議(JCCM-9) 平成30年3月(未 定)
(企画：複合材料部門委員会)

※平成29年度も理事会企画による講演会, 講習会等を行う予定である。

5) 各支部の主催による講演会, 講習会, シンポジウム, セミナー, 見学会等

<北海道支部>

- (1) 北海道内各地区講演会 5回(札幌, 室蘭, 北見・釧路, 旭川地区)
(2) 他学協会共催・協賛等 適宜
(3) 材料学会部門委員会との共催 1回(釧路地区)

<東北支部>

- (1) 材料フォーラム講演会 平成30年3月19日(盛岡)
(2) 特別講演会(申請に応じて2件程度)

<関東支部>

- (1) シンポジウム 1回
(2) 講演と見学の会 3回
(3) 学生研究交流会 1回

<東海支部>

- (1) 支部総会に併せた講演会 1回開催 4月(岐阜大学)
(2) イブニングセミナー 1回開催 6月
(3) 見学会・講演会 2回開催 9月, 12月
(4) 支部学術講演会 1回開催 平成30年3月

<北陸信越支部>

- (1) 特別講演会 (福井県, 石川県, 富山県, 長野県, 新潟県)

<関西支部>

- (1) 講習会(予定回数1~2回)
「破壊力学の基礎と最初応用」
「初心者のための疲労設計講習会」(関西支部共催)
- (2) シンポジウムまたは講演会(予定回数1~2回)
- (3) 見学会(予定回数1~2回)

<中国支部>

- (1) 講習会 (岡山)
- (2) 材料研究交流会 (1回開催予定)
- (3) 特別講演会 (2回開催予定)
- (4) 技術者養成講座 (適宜開催予定)

<四国支部>

- (1) 第15回学術講演会 平成29年4月15日(高知)
- (2) 第18回先端技術懇談会 平成29年9月(香川)

<九州支部>

- (1) 九州支部第4回学術講演会 平成29年12月9日(沖縄)
 - (2) 技術懇話会(沖縄で開催予定)
 - (3) 講演会(数件開催予定)
- 6) 第66期に活動を予定している部門委員会
- (1) 疲労部門委員会
第330回～334回委員会
幹事会2回, 分科会7回
 - (2) PC構造部門委員会
2017年度第1回～4回委員会
見学会1回
 - (3) 高分子材料部門委員会
第178回～180回委員会
 - (4) 高温強度部門委員会
委員会5回
幹事会4回, 分科会24回
 - (5) X線材料強度部門委員会
第184回～186回委員会
幹事会3回
 - (6) 木質材料部門委員会
第294回～296回委員会
 - (7) 腐食防食部門委員会
第316回～321回例会
幹事会6回
 - (8) 地盤改良部門委員会
第307回～310回委員会
幹事会2回, 分科会2回
 - (9) 岩石力学部門委員会
第225回～228回委員会
見学会1回
 - (10) コンクリート工事用樹脂部門委員会
委員会4回
小委員会2回
 - (11) 塑性工学部門委員会
委員会5回程度
幹事会1回
 - (12) 極限環境部門委員会
第36回～38回委員会
幹事会3回
 - (13) コンクリート用骨材部門委員会
委員会2回
幹事会3回
見学会1回

- (14) コンクリート用混和材料部門委員会
第 90 回～92 回委員会
見学会 1 回
- (15) 複合材料部門委員会
第 254 回～257 回委員会
- (16) フラクトグラフィ部門委員会
委員会 2 回
小委員会 3 回
- (17) 信頼性工学部門委員会
第 145 回～147 回委員会
幹事会 1 回
分科会 5 回
- (18) 破壊力学部門委員会
第 158 回～160 回委員会
- (19) セラミック材料部門委員会
第 152 回～154 回委員会
幹事会 3 回
- (20) 衝撃部門委員会
第 147 回～150 回委員会
- (21) 強度設計・安全性評価部門委員会
委員会 2 回
- (22) 分子動力学部門委員会
第 65 期第 3 回, 第 66 期第 1 回～3 回委員会
- (23) マイクロマテリアル部門委員会
第 53 回～55 回委員会
幹事会 1 回
- (24) 半導体エレクトロニクス部門委員会
平成 29 年度委員会 3 回 (研究会 2 回)
講演会・見学会 1 回
幹事会 3 回
- (25) ナノ材料部門委員会
平成 29 年度第 1 回～4 回委員会
- (26) 生体・医療材料部門委員会
委員会 4 回
幹事会 4 回
- (27) 金属ガラス部門委員会
第 41 回～45 回委員会

7) 講師派遣

企画・広報委員会が中心となって実施していく予定である。

8) 関連学協会, 関連団体との共催, 協賛, 後援

平成 29 年度も関連学協会, 関連団体等から依頼のあった講演会, シンポジウム等の共催, 協賛, 後援を行う予定である。

機関誌 (会誌「材料」) の刊行ならびに表彰

1) 会誌「材料」の月刊発行を予定している。

- 第 66 巻 第 4 号 (4 月号) 解説記事特集
- 第 66 巻 第 5 号 (5 月号) 特集 木質材料
- 第 66 巻 第 6 号 (6 月号) 特集 セラミック材料
- 第 66 巻 第 7 号 (7 月号) 特集 X線材料強度
- 第 66 巻 第 8 号 (8 月号) 特集 建設材料
- 第 66 巻 第 9 号 (9 月号) 特集 半導体エレクトロニクス
- 第 66 巻 第 10 号 (10 月号)

- 第66巻 第11号 (11月号)
- 第66巻 第12号 (12月号) 特集 疲労
- 第67巻 第1号 (1月号) 特集 地盤改良
- 第67巻 第2号 (2月号) 特集 分子動力学・信頼性工学
- 第67巻 第3号 (3月号) 特集 岩石力学

2) 表彰

平成29年度学会賞(論文賞・論文奨励賞・技術賞・学術奨励賞・学術貢献賞)の募集は11月頃に行う予定である。

支部功労賞(平成29年度)については、支部から推薦のあった候補者を理事会において決定する予定である。第66期優秀講演発表賞については、第66期学術講演会において応募のあった講演の審査を行い受賞者を決定する予定である。

中国支部では支部学術奨励賞、支部技術賞を決定する予定である。

2 技能検定・認証

平成29年度技能検定講習・技能検定試験を下記の日程で行う予定である。

<技能検定講習>

- ・硬さ試験・引張試験, 疲労試験:平成29年9月14日, 15日 (株島津製作所)

<技能検定試験>

- ・硬さ試験・引張試験, 疲労試験:平成29年9月22日 (日本材料学会)

3 技術認証

材料学に関する広範な技術について個別技術を公平・中立かつ厳正に評価し、所定の規準を満足する技術についてはこれを本学会として認証し、当該技術の社会への応用を支援する。現在行われているの地盤改良部門委員会による「地盤改良に関わる技術認証」である。平成29年度は更新を1件予定している。

[第1回更新]

ガス透過性防水シートを用いたキャッピング工法

総会・理事会・事務関連など

1) 第66期通常総会

平成29年5月27日(名古屋)

2) 理事会など

- ・理事会:年4回以上開催予定
- ・運営委員会
- ・支部懇談会, 部門懇談会

3) 各支部の支部総会・常議員会

<北海道支部>

1) 支部総会

第18期支部総会および特別講演会

平成29年3月24日(札幌)

2) 常議員会あるいは幹事会

常議員会

1回

<東北支部>

1) 支部総会

平成29年度支部総会

平成30年3月19日(盛岡)

2) 常議員会あるいは幹事会

平成29年度常議員会

平成30年3月19日(盛岡)

<関東支部>

1) 支部総会

第66期支部通常総会および特別講演会

平成29年4月17日(東京)

- 2) 常議員会あるいは幹事会
常議員会 5回(東京)
- <東海支部>
- 1) 支部総会
第54期支部総会 平成29年4月(岐阜)
- 2) 支部幹事会
支部幹事会 6回(4月, 6月, 9月, 11月, 12月, 3月)
- <北陸信越支部>
- 1) 支部総会
第33期支部総会および特別講演会 平成29年4月(福井)
- 2) 常議員会あるいは幹事会
常議員会 平成29年4月(福井)
幹事会 第1回: 平成28年4月(福井)
第2回: 平成28年11月(富山)
- <関西支部>
- 1) 支部総会
第66期支部総会 平成29年4月18日(京都)
- 2) 常議員会あるいは幹事会
常議員会 5回(4, 6, 9, 12, 3月)
幹事会 6回(4, 6, 9, 11, 12, 3月)
- <中国支部>
- 1) 支部総会
第49期支部総会および特別講演会 平成29年5月
- 2) 職務幹事会
3回開催(第1回: 5月, 第2回: 11月, 第3回: 平成30年3月)
- <四国支部>
- 1) 支部総会
第18期支部総会 平成29年4月15日(高知)
- 2) 常議員会あるいは幹事会
常議員会 3回開催
- <九州支部>
- 1) 支部総会
第54期支部総会 平成29年12月9日(沖縄)
- 2) 常議員会あるいは幹事会
第1回 平成29年12月9日(沖縄)
幹事会年2回程度開催予定

学会創立70周年(平成33年度)に向けて

平成33年度の学会創立70周年に向けて、学会の将来的発展を期して改革に取り組んでいく予定である。